

**単元名 3 言葉に立ち止まる ― 比喻で広がる言葉の世界**
**配当時間 2時間**

- 単元の目標** (1) 比喻について理解し、言葉についての考えを深めることができる。  
 (2) 文章全体における各段落の役割を押さえ、文章の内容を正確に捉えることができる。  
 (3) 進んで要旨を把握し、言葉について考えを深めようとする。

**標準的な展開例**

10210116\_001

**【準備等】** 国語指導CD, 国語辞典

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 段落の役割を押さえて読み、内容を捉える。 ○ 新出漢字を学習し、難解語句を調べる。 ○ 学習の目標を捉え、見通しをもつ。  ○ 本時の学習目標をつかむ。 ★ 段落ごとの役割を考えながら本文を読もう。 ○ 全文を通読し、内容を捉える。  ○ 「比喻」について知る。  2 言葉について考える。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 比喻を使いこなして、言葉の力を豊かにしよう。 ○ 「教科書の図」(p. 76)の説明をする。  ○ 身の回りにある比喻が生かされた言葉を探し、友達と交流する。  ○ 学習を振り返る。	・ 国語辞典を活用するとよい。 ・ 「目標」(p. 76)を確認させる。 ・ 段落の役割に着目させる。  ・ 教師の範読, または国語指導CDを活用して, 大まかな内容を捉えさせる。 ・ 「比喻」が, 文中で, どのように定義されているかを確認させる。 ・ 筆者が挙げている比喻の二つの効果を具体例とともにまとめさせる。 ・ 「さまざまな表現技法(比喻)」(p. 225)を参考に, 比喻についてまとめさせる。  ・ 比喻を使うかどうかで, 表現にどのような違いが出るかを考え, 発表させる。 【評】 比喻の有無による表現の違いを考える活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 新聞や本を活用するとよい。 ・ 3～4人のグループを作り, 考えを交流させる。  ・ グループ内で出た意見を学習プリントにまとめさせる。 【評】 比喻が生かされた言葉を探す活動を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 比喻について理解し, 言葉について考えを深めたことをまとめさせる。

**【 備 考 】**

詩には日常的な言葉でありながらも、普段とは少し違う言葉や表現が見られる。そうした詩の言葉の豊かな表現に触れ、ものの見方や感じ方を広げさせたい。

また、主体的に表現できる力を育てるためには語彙力や表現力を身に付ける必要がある。観点の分析、語彙の想起、表現の精緻化といった、段階を踏んだ指導が必要である。

言葉には人々を動かし、人々をつなげる力がある。自分の考えや思いを適切に表現できるようになれば、多くの人とのつながりができる。そのような言葉の力への気づきを育むことも大事にしたい。